

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における 北九州市立 長行 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、
立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

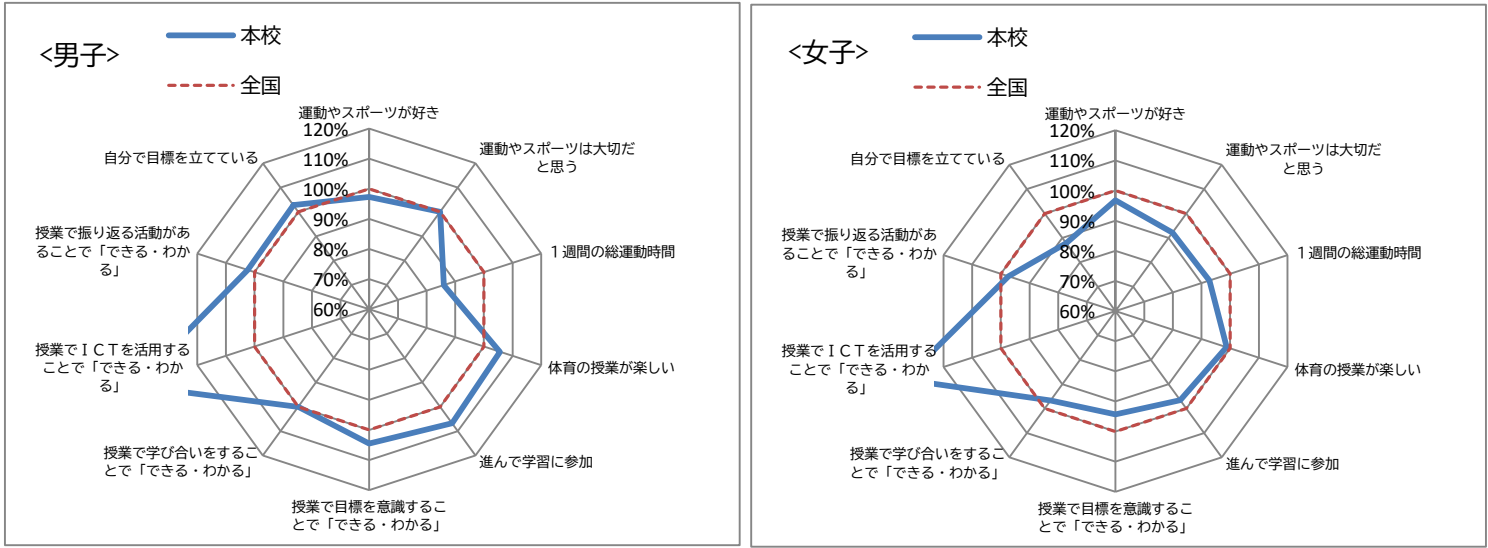
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目			○	○			○		

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目			○	○		○	○	○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

「体育科の授業でのICT活用」に関する肯定的な回答の割合は全国平均を上回っており、1人1台端末を学習で使用することが5年生児童の中では定着しつつある。ただ、「1週間の総運動時間」に関する肯定的な回答の割合は男女共に全国平均を下回っており、「運動習慣」の定着はできていない。教科等で「体を動かす楽しさや心地よさ」を味わわせ、課題解決に取り組んでいきたい。また、「進んで学習する」や「自分で目標を立てている」、「目標を意識して学習する」に関する項目では、肯定的な回答の割合が男女間で差異が大きく、さらなる授業改善が必要であると言える。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・北九州市体力向上プログラム「体育『好きっちゃ』プログラム」を積極的に活用し、楽しい体育科の授業を実践する。
- ・自分の目標を意識して進んで学習できるスモールステップの場づくりやドリルゲーム、学習カード等を工夫していく。
- ・1人1台端末(GIGA端末)や体育館に常設しているTVをより一層活用し、より質の高い体育科の授業を実践する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・持久走大会に向けての「ランラン(ピョンピョン)タイム」の実施。
- ・体育委員会が行う、体力向上に関するミニミニ運動週間の実施。
- ・「おさゆき生活・学習いきいき表」で、一週間の生活時間の記録をつけることにより、自身の時間の使い方についての改善を図ると同時に、家庭への規則正しい生活への啓発を促す。